

令和6年度 南田中小学校 研究構想図

<p>今日的課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 互いのよさを認め合い、生かそうとする力の育成 ・ 様々な視点から、解決の仕方を工夫しようとする力の育成 ・ 自己や集団の成果や課題を様々な視点から見つめ、次に生かそうとする力の育成 	<p>目指す児童像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身及び自分と違う考えや立場にある多様な他者と、互いに認め合いながら、助け合ったり協力できたりできる子(人間関係形成) ・ 自分自身のよさや他者のよさを生かしながら、集団や社会の問題を把握し、合意形成によってよりよい解決策を考えられる子(社会参画) ・ よりよい学級、学校生活に向けて、自分でできることを意思決定し、友達と協力して最後まで活動を進められる子(自己実現) 	<p>児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思いや考えを表現できる子になってほしい。 ・ 相手に思いやりをもって行動する子になってほしい。 ・ 人との関わり方を身につけてほしい。 ・ 最後までやりぬく子になってほしい。
--	---	---

【研究主題】

「よりよい人間関係や生活をつくり、自己のよさを生かす特別活動」

～考え表現することのできる児童を目指して～

【研究仮説】

特別活動を通して、考え表現することのできる力が身につけば、よりよい人間関係や生活をつくり、自己のよさを生かす児童の育成ができるだろう。

研究の視点 (事前の活動・本時の活動・事後の活動・教室環境の視点)		
【視点1】 人間関係形成 <u>違いを認め合い、 みんな共に生きていく力</u>	【視点2】 社会参画 <u>よりよい集団をつくろうとする力</u>	【視点3】 自己実現 <u>なりたい自分に向けて頑張る力</u>
具体的な指導の工夫 (例)		
(事前)学級会ノートを書かせる。 (本時)意見は担任が書き、係が黒板に貼る。 (本時)発信、受信の視覚化 (本時)視覚教材の活用 (本時)活動のよさを認め、価値付けする終末の教師の助言の工夫 (本時)振り返り時間の確保、振り返りカードの工夫	(事前)意見を前もって、黒板に貼りだし、見通しをもたせる工夫 (事前)司会台本の準備、練習 (事前)議題に相応しいものを選定 (事前)計画委員会を活性化させる事前指導の工夫 (事前) 司会チームの引継ぎ (本時)ハンドサインで意思表示をする (本時)自分の本時のめあての設定 (本時)少人数での話し合いの場の設定 (本時)学級全員が納得する合意形成の工夫	(事前)事前アンケートの活用 (本時)学級会ノートの活用 (本時)自分の本時のめあての設定 (本時)事後指導を生かすワークシートの掲示 (本時)教師の助言 (本時)自分の学級全体の成長に気付く振り返りの工夫 (事後)学びの振り返り発表会の実施 (環境)学級目標の可視化と実践への工夫
(環境)学級会グッズの準備		
(本時)半円などにする座席の工夫 (本時)話し合いの順序の明確化 (本時)ペアタイム→全体タイムの流れで安心して、自信を与える工夫 (本時)個々の活動の可視化、視覚化 (環境)声の大きさ、話型、聞き方なので掲示		